

令和4年度
11月号



大東小学校だより

さいたま市立大東小学校
浦和区大東3-14-1
【TEL】048-886-7296
【HP】<http://daito-e.saitama-city.ed.jp/>

○の心、□知らず

校長 永井 有司

晩秋の候、益々御健勝のこととお喜び申し上げます。日頃から本校の教育活動に御理解・御協力をいただき、心より感謝申し上げます。

さて、2学期は教員採用試験の発表が行われますが、先日、N先生から以下のようなお話を伺いました。

先日、教え子から「教員採用試験合格しました！…本当にホッとしました。N先生との出会いが私の人生を変えました。本当にありがとうございました。」と連絡が入りました。合格の報告とともに、もったいないような言葉が記されていて感動しました。最近、この教え子に会って、話をした時に、担任した4年生のときのことを本当によく覚えていたとのこと。当たり前のようにやっていたことを本当に大切に受け止めてくれていたそうです。たとえば、「先生は毎朝、必ず教室にいて、笑顔で私たちを迎えてくれました。本当に嬉しくて楽しかったんです。」とか、「先生は、『この問題を間違えちゃった人は？』っていつも聞いてくれました。間違っても、恥ずかしがらずに手を挙げられる雰囲気がいっぱいあったんです。」とか…。もうびっくりでした。そして、そういう経験を重ねたことで、先生が作ってくれたようなクラスを作っていきたい！というのが夢になって、教員を目指すようになった…というのです。

こういうお話を伺うと、「教え子がいる」というのは、教師としての特権のようなものであると改めて思われます。わたしの教え子も、今年教員採用試験に合格しましたが、どんな気持ちでわたしに報告してくれたのでしょうか。よく「教師冥利」という言葉が使われますが、教え子の成長を目の当たりにすることほどこの言葉がぴったりとする時はないでしょう。

ただ、4年生の子どもがこんなにもしっかりと担任の先生を見ており、10年以上経った後でもしっかりと覚えていて述懐するということは、一面では怖いぐらいの気持ちがありました。果たして、わたし自身は多くの教え子にどんな印象を与えてきたのだろうか。そして、その教え子たちはその時のことをどんな思い出として持っているのだろうかと思います。連絡をくれたり、会ったりする教え子はよい印象をもってくれたのですが、連絡を取っていない多くの教え子は如何に……。

話は本題に入ります。タイトルに「○の心、□知らず」と書かせていただきました。○と□に入る文字は、通常は「○=親、□=子」ということになるでしょう。けれども、それが逆だったらどうでしょうか。「子の心、親知らず」、さしずめ、学校ならば「教え子の心、先生知らず」となるのでしょうか。両方に該当するわたしは、背筋が寒くなるような思いを抱きます。

1人の親として、我が子の思いをしっかり汲み取りながら子育てをしてきたのだろうか。これは決して我が子に迎合するという意味ではありませんが、親として自分の価値観を押し付けていた部分が多かったように思います。また、母親任せにして問題から逃げていたこともあったのではないかと反省いたします。幸い、長女はわたしを追ってか反面教師としてか分かりませんが、同じ職に就いてくれました。逆に、「絶対教師にだけはならない」と公言した息子はどんな思いだったのでしょうか。

保護者の皆様も、今一度我が子との関係を振り返ってみることも必要かも知れません。以前、「わたしの子は、わたしの前では絶対に嘘はつきません」と断言していた保護者の方がいました。わたしは口が裂けてもこんなことは言えません。子どもは正直な存在ですが、自分に都合の悪いことは言わないということ、職業柄よく承知しているからです。それも成長の証なのかも知れません。我が子を信じられないということも寂しいことですが、我が子の嘘もしっかりと受け止めて子育てをするというのが、本来的な姿であるような気がします。100人いれば100通りの子育てがあるように、子育ては本当に難しいものだと思います。ぜひ、まだ修正の効く子育て真っ最中の保護者の皆様、わたしと同じ後悔をしないためにも、お子さんとの関係を見つめ直し、よりよいものとする方策を考えてみてはいかがでしょうか。



《読み聞かせ、再開！！》

〈みんなキラキラ さわやか笑顔の大東小学校を目指して〉 **かしこく なかよく たくましく**
学校・家庭・地域が協力して「あいさつ」があふれる大東小に

生活目標 「進んで図書室の本を利用しよう」 **保健目標** 「寒さに負けない丈夫なからだになろう」

11月の行事予定

1	火	お話朝会 SSW 来校日	B 週
2	水	GS タイム 小・中合同音楽会(代表5年3組) SC 来校日	
3	木	文化の日	
4	金	GS タイム SSW 来校日	
5	土	大東っ子まつり 11時30分頃下校	
6	日		
7	月	給食朝会 クラブ シェフ給食 給食費引き 落とし日	A 週
8	火	体育朝会 SSW 来校日	
9	水	GS タイム 集金日 SSW 来校日	
10	木	安全点検日 読書タイム 放課後チャレンジ スクールA PTA 校内美化活動	
11	金	GS タイム SSW 来校日	
12	土	土曜チャレンジスクール	
13	日		B 週
14	月	埼玉県民の日(学校閉庁日)	
15	火	月曜日課 音楽朝会 SSW 来校日	
16	水	GS タイム SC・SSW 来校日	
17	木	3時間授業(給食なし) 市教科研修大会	
18	金	GS タイム	
19	土		A 週
20	日		
21	月	算数タイム クラブ	
22	火	3時間授業(給食あり) 学年学級の時間 大東小研究発表会	
23	水	勤労感謝の日 ノーメディアデー	
24	木	読書タイム 放課後チャレンジスクールB SSW 来校日	
25	金	GS タイム SSW 来校日	週
26	土	土曜チャレンジスクール	
27	日		
28	月	算数タイム 委員会 SSW 来校日	
29	火	生活朝会 SSW 来校日	
30	水	GS タイム	

○5年生がたかつえ自然の教室に行きました。

10月5日(水)から7日(金)まで、5年生がたかつえ自然の教室に行きました。天気の心配がありましたが、キャンプファイヤー、フィールドワーク、ニジマスさばきと予定していたすべての活動を行うことができました。自然を満喫し、友情を育み成長して帰ってきた5年生。これからの活躍が楽しみですね。



○6年生が日光修学旅行に行きました。

10月17日(月)と18日(火)に、6年生が日光へ修学旅行に行きました。こちらも天気の心配がありましたが、華厳の滝に、戦場ヶ原ハイキング、日光東照宮と予定していたすべての場所を雨に降られることなく回ることができました。ホテルでも、とてもいい笑顔で過ごしていたようです。卒業に向けて残り数か月、この思い出を大切に、最高学年としてがんばってほしいです。



○見沼歩こう会が行われました。

育成会主催の見沼歩こう会が4年ぶりに行われました。久しぶりの開催とあってか、親子合わせて、126名が参加しました。秋を感じながら見沼氷川公園まで歩き、そこで宝探しをしたり、おにぎりを食べたりしました。子どもたちも保護者の皆様も気持ちよく体を動かせたようです。育成会の皆様どうもありがとうございました。



<11月の日課の変更について>

○17日(木)につきましては、さいたま市教育研究会研修大会のため、**3時間授業となり、給食はありません。11時10分頃下校です。**

※3年3組は、研究授業のため弁当の持参となり、14時30分頃下校となります。

○22日(火)は、本校の研究発表会のため、他校から多くの先生方が来校します。**3時間授業で給食はあります。12時15分頃下校です。**

※2年4組、4年1組、6年2組は研究授業となりますので、14時30分頃下校となります。

○両日とも、放課後に校庭で遊ぶこと、忘れ物を取りに来ることはできませんので、御協力をよろしくお願いいたします。

御家庭でも「あいさつ」で気持ちのよい朝を迎えませんか？

児童会の子どもたちが「あいさつ運動」をしています。「おはようございます!」と声を掛けられるとうれしくなりますね。ぜひ、御家庭でも子どもたちと気持ちのいいあいさつをしてみてください。

